



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 46 号
2014年1月20日
編集兼発行人
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



「諏訪神社の初太鼓」
撮影者：伊藤 久雄
撮影日：平成 26. 1. 1 AM0:03
カメラ：NICON D7100
シャッター速度 1/200 f5. 6
焦点距離 24 mm ISO2800
フラッシュ SB600 i-TTL-BL
場所：日立市諏訪町 2 丁目
撮影余話：日立市から山越えて常陸太田に行く道沿いに「諏訪第 2 宮」はある。このお宮の新春を祝う祭事の一つ「御諏訪太鼓」が年明けの零時から行われている。地域の人々が諏訪神社文化芸能を伝えるため日頃から子供たちとともに練習しているものが披露される。近所に住むものとして太鼓の音で初春を感じるのはさすががしい。

新年を迎えて



変化する時代に対応して
支部長 久野 勝邦

明けましておめでとうございます。昨年は、新しい政権になって、日本も大きく変わりつつあることを実感する年でした。茨城支部の活動拠点も、大震災の影響で、旧日立木材地所の 2 階に移転しましたが、更に今年初めには、日立事業所の中心にあったタービンと発電機部門が、三菱重工との合弁会社に移り、新しい体制が発足します。これに伴い、茨城地区の主力工場であった日立事業所の構成も大きく変わってきます。

我々茨城支部をこれまで支えて戴いた日立事業所には、引き続き支援戴く予定ですが、今後の茨城支部のあり方については、皆様と共に考えて行きたいと思えます。

日立社友クラブの皆様方は、太平洋戦争とその後の高度経済成長の時代、即ち昭和の激動期を乗り越えて来た方々です。そしてこれからは、少子高齢化の時代に入ります。その様な変化する時代に対応して、我々高齢者に何が出来るだろうかと考えさせられる日々でもあります。最近読んだ本で、「人生は 65 歳からが面白い」というのがありますが、健康に留意しながらも、未来指向で、日本の社会の為に何が出来るのかを考えて生きて行くのが、我々のこれからの生き方かとも考えられます。

茨城支部の会員の方々には、実に素晴らしい方々が

大勢おられます。皆様方が現役の時代に発揮された力とエネルギーを、日本の未来の為に発揮されるならば、何がしかの貢献が出来る様に思います。

最後に、皆様方並びにご家族の方々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

茨城支部からのお知らせ

* 第 63-1 回 日立社友クラブ理事会報告

開催日：平成 25 年 12 月 12 日(木)
議 事：会員候補から 42 名が入会され、会員数は 5,703 名になった。茨城支部便り第 45 号が紹介された。

* 平成 25 年 12 月 茨城支部役員会報告

開催日：平成 25 年 12 月 13 日(金)
議 事：新入会員候補 7 名の入会が承認され、会員数は 1,071 名になった。

* 日立運動部の応援について

茨城支部では日立グループ傘下の全日本級運動部の応援活動を推進中です。茨ネットを通じて皆さんに随時、競技日程や開催場所をご連絡しますので、熱い応援をお願いします。

茨城支部総会のご案内

平成 26 年度第 112 回茨城支部総会の開催を以下に予定しています。一年ぶりに皆様との語らいを楽しみに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

- 1. 期日：平成 26 年 5 月 23 日(金) 11:10~14:30
- 2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は別途後報致します。

留学生クラウディアの祖父母のルーツ探し

《外国人向け日本語教室活動を通して》

大久保 和朗



一、クラウディアとの出会い

その日は、日立市国際交流協議会所属、フレンドリー・あんずが主催する『ペペチャリテイコンサート』が、ゆうゆう十王・Jホールで開かれる日、私も会場係として日本語教室の同僚・半田さんの車に乗り込みました。その車の中に既にクラウディアが座っていて、半田さんより、自分の日本語クラスの生徒である、と紹介されました。



クラウディア(左から二人目)とペペと筆者

会場までの道すがらスペイン語で雑談する中で久しぶりの母国語での会話が嬉しかったのか突然猛スピードで日頃の思いを話し始めました。

自分はアルゼンチン人で日系三世なること、在亜茨城県人会推薦で茨城県の奨学生に合格し現在茨城大工学部で研修中なること、祖母は茨城県桂村出身なること、国を出る時に両親から祖父母の実家を訪ね必ず挨拶して来い、と情報を託されたこと、今すぐにも訪問したいが、自分は日本語が不十分で多分先方もスペイン語は理解できないと思うので今は一生懸命に日本語を勉強し、来年二月帰国前に必ず訪ねて行きたい、と思っしていること等を話してくれました。大変驚いた私は「私がお手伝いするからすぐ訪問しよう。地球の裏側からやってくるよ。その情報を見せて」と説得を

始めました。最初は頑なに拒んでいましたが会場到着までに渋々納得し、情報を手渡ししてくれました。その夜彼女の祖母の実家・小林家に電話しました。電話に出た現当主の奥さん、ともさんは当初は不審電話と思っただけでしよう、すぐ切ろうとしましたが、私が『アルゼンチンの』と話し始めたら何かを感じたようで私の話を驚きながら熱心に聞いてくれ、最後は訪問を喜んで受け入れて頂けることになりました。

二、祖父母のルーツを訪ねて

双方の日程を調整し一昨年の十二月二十二日半田さん、それに私の妻と四人で旧桂村、現城里町を訪ねました。その時迄に彼女、我が家で一緒に食事したり私のスペイン語クラスに特別講師として参加してくれたりして妻とも仲良しになっていたので妻も同行させました。途中の車中から見景色から当初は『こんな山奥からアルゼンチンへ?』と困惑しましたが、以前は水戸との間に鉄道があり、多くの人々が水戸へ通学していた、とお聞きし納得しました。



クラウディアの祖母実家にて(前列右より筆者、クラウディア、一人おいて大祖母喜美子さん)

祖母の実家には既に祖父の家族も集まっいて赤飯や珍しい盛り沢山の料理で大歓迎してくれました。驚いたことに祖母の小林家と祖父の広木家は直線距離で約五百メートル程度しか離れていない近所だったことでした。祖父の奥さん、喜美子さんは一九〇三年桂村に生まれ水戸の専門学校を卒業後一九二七年、ア

ルゼンチンを第二の故郷と定め大志を抱いて渡亜、当初は野菜栽培、後に果実や花の栽培等で基盤を作りました。その後広木家の家族が何度か小林家を訪問、八人兄弟姉妹の長女、ちよさんを富寿の嫁に！とお願ひしたそうです。ちよさんのご両親は大反対したそうですが、水戸の女学校を卒業したちよさんご本人が『この狭い日本で暮らすより、アルゼンチンで！』と申し出で、一九三四年横浜港からサントス丸で一人で出発しました。桂村から水戸經由横浜港迄でも当時は長旅でしたが、そこから一か月の船旅、さぞかし心細かったのでは、とご両家のお話をお聞きしながら感じました。

その後富寿・ちよご夫妻は七人の子宝に恵まれ、クラウディアは七番目の子供、ルイスとその妻モニカが長女として誕生しました。ご両家とアルゼンチンの家族との交流は、こしばらくなかったそうで最初の私の電話には本当に驚いたと、ともさんは笑って話してくれました。今回の我々の訪問を最も喜んでくれたのはちよさんの末妹、喜美子さん(八五歳)でした。クラウディアを自分の傍に置いて昼食に出た生寿司をとってやったり終始ニコニコ、クラウディアに話しかけていました。

別れを惜しみつつ帰路に就いた車中でクラウディアがぼそつと一言『お小遣い貰っちゃった』と嬉しそうに話しました。喜美子さん、きつと自分の姉ちよさんの思い出を彼女にダブらせ、自分の孫のように愛おしかつたので、自分の御小遣いから上げたのでしよう。一万円をティッシュに包み誰にも気付かれないようそつと渡してくれたそうです。その後クラウディアとご両家は何度か往来、温泉旅行等にも出かけた

様でした。それらを報告する彼女のメールには必ず『私の家族と』と誇らげに記してありそこから彼女の喜びが感じられとても嬉しく思いました。

三、研修終了式に出席して

昨年の二月二十二日茨城県庁で県幹部他関係者多数出席のもと中南米茨城県人子弟研修員終了式が挙行され出席しました。修了者はクラウディアとブラジルのジャクソン君の二名で、修了証書授与の後筑波大、茨城指導教授の形どおりの挨拶があり最後に私が『祖父母のルーツを探して』と題し「祖父母の実家の家族に大きな喜びと誇りと希望を与えた」と報告しました。出席者全員真剣に聞いてくれ



研修員終了式(前列左より2人目がクラウディア、後列右より3人目が筆者)

最後に県担当者より一県のこの企画が県民にも喜びを与えていることを知り大変励みになった。いいお話を聞かせていただいた。と感謝のコメントがありました。

四、クラウディアの帰国

二月二十六日、成田に見送った半田さんに一通の手紙を託して彼女は帰国の途に就きました。その手紙は若い女性特有の癖字で判読に苦慮しましたが、前半はお手伝いした私と妻への感謝の言葉、後半はスペイン語クラスで行った大送別会へのお礼で最後に「アルゼンチンへお出での折は必ず、必ず、必ず連絡下さい」とありました。

大久保 和朗氏 連絡先

〒317-0066 日立市高鈴町5-6-14
電話 0294-23-1960
メール: ooku_k@hotmail.com

リレー随筆 (46)

2020年への期待 鎌田 洋

2020年オリンピック開催都市を決定するIOC総会が、9月7日アルゼンチンで開催され、開催都市が「東京」に決定した。招致の最終プレゼンテーションでは、冒頭、高円宮妃殿下が東日本大震災における各国からの支援に対して、フランス語で感謝のお言葉を述べられた。凜とした気品に満ちたメッセージでは、スポーツ団体の人々との関わりを大切にされたご経験から、「皇室はスポーツが大好きです」のお言葉を添えられたことが印象的であった。



1964東京オリンピックの開催が決定した1959年当時、サッカー日本代表チームはアジアでさえ勝てなかった。日本サッカー協会は、西ドイツのデットマール・クラマー氏をコーチとして招聘し、オリンピックへ向けた代表チームの強化を開始した。1960年から4年間に亘るクラマーさんの技術・精神の両面での指導により、長沼健監督の代表チームは、東京オリンピックでアルゼンチンを破りベスト8の成績を取めた。帰国に際してクラマーさんが助言したとおりに日本サッカー・リーグを発足させ、強化を続けて、1968メキシコオリンピックでは、ほぼ同じメンバーで開催国メキシコを破り、銅メダルを獲得した。この快挙を遂げた代表チームには、日立一高OBの鎌田光夫、宮本征勝の両君がいた。彼らの12年余の代表歴が示すように、代表

チームの国際レベルは維持できなかった。

そこで、1993年にトップリーグをプロ化したJリーグが創始された。Jのクラブは、Jリーグ百年構想にもとづき、ジュニアからの育成組織を持ち、地域住民や行政、企業の支援を受けて運営する責任をもったプロチームである。

その効果によって、1998フランスワールドカップ初出場以来ワールドカップに連続出場でき、日本サッカーは現在も成長し続けている。

この変革の中心には、1964東京オリンピックメンバーがおり、日立市ゆかりの両君と、(元)全日本代表の監督、高橋英辰氏(1941年多賀工場入社、父親のチームメイトであり、かつ私の恩師のご子息)は、その功績により、日本サッカー殿堂に掲額されている。

私は、この方々の支援により、日立市サッカー協会の運営にかかわり、少年団、中学、高校、市民リーグ、女子、シニアなどが参加する体制をつくり、それぞれが活発に活動できるように協力してきた。目指すものは、地域に根差したスポーツ文化の創造である。

地域の企業、行政が理解を深め、支援を強めて、日立市スポーツの人的資産を生かす地域づくりの進展が求められている。



高円宮妃殿下と話される鎌田光夫 (筆者の弟 JFAハウスにて)

同好会行事に参加して

「囲碁の会」

安藤 捷治



囲碁の会にかかわりを持ったのは、同好会が発足し世話人を仰せつかって以来である。当初懸念検討したのは、①参加者が集まるか? ②碁盤・碁石の確保 ③手合い割の方法 ④大会・例会の開催方法などであった。何とか道具類を準備し1回目を開催した時20名ほどの方に集まっていたことを記憶している。以来、月例会2回/月と大会1回/3ヶ月を開催した。数カ月後には勝田地区でも発足していただき双方とも活発な会となっている。小生は約10年間世話人を担当させていただいたが、おかげで多くの方と知り合うことができ退職後の人間関係の幅が更に広がったと感謝している。

2011年に世話人を助川さんに交代していただき現在はのんびりと対局を楽しんでいる。発足以来日立地区は例会300回・大会50回、勝田地区も例会120回・大会43回に及んでいる。

「シニアPC」

横田 擴



パソコンを始めて間もない2009年5月、先輩に勧められ「シニアパソコン講座」の仲間に加えていただいた。

最初は講義に続く実機操作は後ろで見学していたが、次第に自分も操作して手応えを感じるようになり、基礎的なことは出来るようになったのは講師、世話人の熱心な指導と仲間の後押しのおかげと感謝

している。また「困り事相談」では自分が疑問に思っていることも多く取り上げられ、たいへん参考になった。

2011年3月の東日本大震災で講座は中止となった。私のパソコンも足踏みとなったが、2012年に再開されることになり、迷わず参加を申し込んだ。

再開された講座では、更新され、台数も増えたパソコンで、便利な使い方や新しい機能を学んで大きな刺激を受けており、焦らず着実に自分のものにしたいと思っている。

「料理教室」

並木 慎一郎



料理教室に入会して一年が経過した。月1回の参加ですが、とても楽しく新鮮な一年間でした。毎回のメニューは、簡単に作れる和食か洋食のおかず2~3品と主食のパンです。パンは、毎回異なる種類のものを焼き上げるのも楽しみです。二食分作り一食分はお土産として持ち帰ります(これが家族には大好評です)。

生徒と先生が一体化した、自由で楽しい雰囲気は次回開催が待ち遠しいくらいです。暑気払いや忘年会も盛大でした。生徒自慢の郷土料理や地元の銘酒で盛り上がります。忘年会は、先生と教室の提供者を招待しました。主食は蕎麦と芋煮、二班に分かれての蕎麦打ち(地元の秋そば粉使用)、芋煮づくり(山形天童市伝統)の出来栄は上々、招待者がおかわりを連発するほどでした。

私の入会目的は「自立」です。上げ膳据え膳の人生からそろそろ卒業し、近い将来女房に「今日のお昼は俺がつくる」と言えるようになるのが「夢」です。

同好会の行事ご案内（2月～4月）

1. 第59回 研修会

〔日立アプライアンス(株)多賀家電本部と(株)日立製作所電力システム社日立事業所国分工場見学〕

日立家電製品と送電用機器製造の上記2工場の見学会を実施します。

皆様の参加をお待ち致しております。

- ・開催日：平成26年3月5日(水)
- ・集合時間：10:00
- ・集合場所：日立アプライアンス(株)多賀家電本部正門(旧多賀工場)
(JR上り9:21着、下り9:33着)
自家用車での参加はご遠慮下さい。
- ・解散時間：14:30頃の前予定
- ・会費：1,000円前予定(昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：2月5日(水)
- ・申込先：石田 和夫 Tel/Fax：0294-34-0209
E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

2. 第56回 歩こう会

〔日立市南部の桜花めぐり〕

日立市大甕地区の桜花を觀賞しながら歩き、その桜花の中でも見事な日研進入路をメインに南部地区を歩きます。皆様のご参加をお待ちしています。

- ・開催日：平成26年4月 3日(木)
雨天延期 4月10日(木)
- ・集合：大甕駅10:40スタート
同駅上り：10:26 下り：10:31
- ・コース：大甕駅→駅前通り→児童公園→久慈中→日立商高→いしがさく公園→児童公園→日研(昼食)屋上の展望→大甕神社→大甕クラブ→大甕駅14:00着
ほぼ平坦地6km
- ・持参品：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込締切：3月27日(木)
- ・申込先：須江 二郎 Tel/Fax：0294-53-5901
E-mail：j-sue@nifty.com

3. 定例行事予定一覧（開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。）

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場 所	時間	備 考
		2月	3月	4月			
野鳥自然観察グループ	北村一郎 029-241-8504 HGE00424@nifty.com	17(月)			潤 沼	9:00～	参加費:¥200/回 原則雨天中止
			17(月)		高戸海岸	9:00～	
				21(月)	水沼ダム	9:00～	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	12(水)	12(水) 大会	9(水)	同好会本部	10:00～ (大会) (9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥1500
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	26(水)	26(水)	23(水)			
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	10(月)	10(月)	14(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回
		24(月)	24(月)	28(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	5、12、 19(水)	5、12、 19(水)	2、9、 16(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	3(月)	3(月)	7(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	7(金)	7(金)	4(金)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	4(火)	4(火)	1(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	基礎講座 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	11(火)	11(火)	8(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	25(火)	25(火)	22(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	シニアパソコン 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	17(月)	17(月)	21(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	PSE9講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	21(金)	20(木)	18(金)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
HTML講座		27(木)	27(木)	24(木)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む

訃 報 苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

鷺山 重也 平成25年10月 2日 享年92歳
 山岸 義勝 平成25年10月19日 享年68歳
 松林 博志 平成25年11月23日 享年63歳
 吉田 英寿 平成25年12月17日 享年73歳
 西本 喜好 平成25年12月29日 享年80歳

編集後記 会員の皆様、あけましておめでとうございます。五月の総会には元気な姿をお見せください。大久保さん、留学生の祖父母ルーツ探し、ご苦労様でした。それにしても明治生まれのフロンティアスピリットには驚きです。鎌田さんのサッカー界での足跡は、プロ化支援草の根運動のパイオニアです。 長島 重和